秋田大学教育文化学部　学校教育課程　教育実践コース

国語科を専門とする教員を目指したいみなさんへ

１．　主な科目と授業の特色

国語科教員免許に関わる主な科目と授業の特色を紹介します。

（１）主な科目

教育実践コースでは、小学校教員免許の取得とともに、中学校教員免許の取得が卒業要件です。（高校教員免許を取ることもできます。）

履修の大きな流れは、1～2年次ではおもに小学校教員としての多様な科目に関する基礎基本を身につけます。2～4年次では、国語の専門的な基礎を身につけていきます。

教育実習は、2年次、3年次でおこないます。

○ 小学校教員免許関係

・ 教科内容に関する科目…初等国語、初等書写
国語科以外には、初等科学などがあります。

・ 教科指導法に関する科目…初等国語科教育学
初等国語科書写教育学
国語科以外には、初等算数科教育学、初等社会科教育学などがあります。各教科の指導法について学びます。

○ 中学校・高校教員免許関係

・ 教科内容に関する科目
…日本語学概論、日本語文化論、日本語学
日本語学演習、 古典文学概論
日本文学概論、日本文学論
日本文学論演習、中国文化概論、書道

・ 教科指導法に関する科目
…国語科教育学、国語科教育学演習

（２）授業の特色

これらの科目の授業形態には、次のような特色があります。

○ 1年次から履修できる初等科目や小学校教員免許関係の教科指導法科目には、以下の特色があります。

- 大学教員が授業者となって模擬授業を展開する。
- 学習者の立場を体験する「学習者体験」に取り組む。
- 実際の教科書教材の教材研究をする。
- 上記の体験・経験を生かして、グループで短時間（30 分程度）の模擬授業にする。
- 指導案作成をする。
- 学生が中心となって進行及び運営を行い、探究型・問題解決型で課題の検討を重ねる。

○ 2年次以上で履修するその他の科目には、以下の特色があります。

- 国語科教育学演習では、聴くこと・話すこと、文学や説明文・論説文の指導法など、専門性の高い学習・研究ができる。
- 小説、古文、漢文、文法、語彙、書道などについて、日本語学、日本文学、漢文学、 書道の専門を幅広く、また掘り下げて学ぶ。
- 単位修得済みの4年次や3年次がいっしょに受講しながら相談に乗ってくれる。大学院生の援助がある。
- 卒業研究では、国語教育の諸課題のなかから自ら課題を設定して、調査・実践・考察する。

２． 教員紹介

成田　雅樹　（なりた・まさき）

大学院の専任教員であるため、学部の主な担当授業科目は「国語科教育学」「国語科教育学演習Ⅰ、Ⅱ」になります。授業では実践的指導力を高めることを重視しています。そのために、教科書教材の教材研究や全国の授業実践事例の検討、学生自身の模擬授業を取り入れています。研究は「書くこと」を中心としていますが、語彙や文法、言葉遣い、漢字、古典、書写を含む言語事項指導の研究、文学や説明文を「読むこと」の指導法研究、スピーチやディベートなどの「話すこと・聞くこと」の指導法研究など、小中高の国語科の各領域について研究してきました。ほかに市販のテスト、ドリル、通信教育教材の作成、小中学校国語教科書の編集（文学と作文を担当）などを経験してきました。

髙橋　茉由　（たかはし・まゆ）

主な担当授業科目は、「初等国語科教育学」「初等国語」「国語科教育学演習Ⅲ、Ⅳ～Ⅵ」です。授業では、受講生のみなさんが学習者になりきって、「学習者体験」をします。その時に感じたことを大切にして、よりよい国語科の授業をつくるために、受講生で意見を出し合ったり、教材研究をしたりしていきます。グループで国語科の模擬授業を行い、みんなで検討もしていきます。研究では、学習者の個性を生かして自己や他者の理解を深める国語科の授業づくりについて研究をしています。特に、文学作品を読むことや創作すること、それらから得た考えを交流することを通して、自己や他者の理解を促す学習方法についての研究を行っています。国語を学ぶことは、自己や他者を理解することに繋がると考え、研究を進めています。

【授業風景】